

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 1 月 4 日作成)

小委員会名	耐用年数予測手法小委員会		主 査 名：本橋健司 就任年月：2003 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 耐久保全運営委員会		委員長名：田中亨二 主 査 名：井上照郷
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物の耐用年数予測手法に関する国内外の資料調査 ・現状調査レポートを作成 ・耐久設計に関する ISO 化活動に対する支援 ・2003 年度：耐用年数予測手法の調査、文献の整理 ・2004 年度：耐用年数予測手法の調査、各種予測法の整理、実例調査、調査報告書の骨子検討 ・2005 年度：耐用年数予測手法の調査、調査報告書の骨子完成 ・2006 年度：最終調査報告書の取りまとめ、シンポジウムの開催 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無し		
	本橋健司(独立行政法人建築研究所) 榎木堯((財)ベターリビング) 井上照郷(日本建築仕上材工業会) 近藤照夫(ものづくり大学) 鹿毛忠継(国土技術政策総合研究所) 中島正夫(関東学院大学) 植本敬大(独立行政法人建築研究所) 兼松学(東京理科大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2005 年度予算	100000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	2007 年度 4 月に予定
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 調査報告書の原案を完成した。 2. 調査報告書をテキストとし、セミナーを実施する計画を立案したが、会場や他の講習会との関係から、セミナーを 2007 年度である 4 月 20 日とした。 3. シンポジウムの期日は 2007 年度にずれ込んだが、それ以外は予定の目標を達成した。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員の全員出席が難しい。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。